

中・高・大連携による

# これからの教育実践モデルの構築

横浜国立大学教育学部 × 神奈川県教育委員会

人事交流  
システム

講師派遣

ムーンハーベスト

実践研究会

YNU: Initiative for  
Global Arts & Sciences

授業公開

Agency

実践性 Be ACTIVE  
先進性 Be INOVATIVE  
開放性 Be OPEN  
国際性 Be GLOBAL

問題発見・解決能力

Competency

連携入試  
システム

学習評価



光陵・国大  
訪問

Ambition Cooperation  
心やさしき社会のリーダー  
Koryo Universe・KU Sprout



教職基礎

学校研究

STEAM

Literacy

柔軟な  
思考力  
行動力

Time of Fuzoku  
Yokohama  
Career Aim Navigation



神奈川県立光陵高等学校と横浜国立大学教育学部附属横浜中学校では、県教育委員会により「県立高校改革推進計画」の一環として、平成19年度に横浜国立大学教育学部と連携し策定した「中・高・大連携によるこれからの教育実践モデルの構築実施計画」に基づき、平成21年度から「連携型中高一貫教育校」として6年間を見通した教育展開を行うとともに、平成24年度からは附属横浜中学校から「連携枠」による光陵高校での受入れを行うこととしました。このリーフレットは、現在、この「実施計画」に基づき附属横浜中学校、光陵高校及び横浜国立大学教育学部が実施している教育展開や取組を広く紹介するために作成したものです。

## 展開のねらい

中・高・大連携により、これからの社会をよりよく生きるための幅広い資質・能力の育成を重視した教育展開を進めるための「かながわの中等教育の先導的モデル」づくりを推進する。

- ▶ 中学校・高校の6年間を通じ、生徒一人ひとりの個性を生かし特性を伸ばす教育の展開に資するため、中学校・高校・大学との連携により、「かながわの中等教育・高校教育の先導的モデル」となる教育展開の実践研究を進める。
- ▶ 教育展開にあたっては、「これからの社会をよりよく生きるための幅広い資質・能力」を身に付けた、次代を担う人材を育成することを目的とした教育を進め、中学校・高校の6年間を見とおした系統的な展開を図る。

注) 「これからの社会をよりよく生きるための幅広い資質・能力」は学習指導要領で3つの柱に整理された育成を目指す資質・能力「知識及び技能」「思考力、表現力、判断力等」「学びに向かう力、人間性等」を指す。

## 教育展開

- ▶ 附属横浜中学校と光陵高校のそれぞれが目指す生徒像の共通項を確認・検討することで、「連携を通して育成を目指す資質・能力」を具体化し、その育成を重視した教育展開を進める。
- ▶ 横浜国立大学の教育資源を活用し中学校・高校の教育展開への支援をととして教育活動の充実を図るとともに、高校と大学との柔軟な接続のしかたの探究を推進する。

連携を通して育成を目指す  
資質・能力

## 問題発見・解決能力



附属横浜  
中学校

### 附属横浜中学校の 「目指す生徒像」短期重点目標

#### 心理的

- ▶ 他者との関わりから自己有用感を高めたり自己調整を図ったりして、物事への誠実な対応ができる生徒
- ▶ 自己の在り方について考えたり、他者への思いやりを大切にしたりできる生徒

#### 認知的

- ▶ 変化する社会に柔軟に対応し、新たな価値を創造することができる生徒
- ▶ 多面的・多角的な考察を通じて問題を発見し、解決のために適切な判断ができる生徒

#### 身体的

- ▶ 自分の心と身体についての理解を深め、健康や安全への心がけができる生徒

#### 社会的

- ▶ 持続可能な社会の創り手として、多様な他者と価値観を認め合い、協働して取り組める生徒
- ▶ 社会の諸課題を自分自身に関することとして捉え、その解決に向けて粘り強く取り組める生徒



光陵高校

### 光陵高校の 「スクール・ポリシー」

#### グラデュエーション・ポリシー

本校は、「次代を担う心やさしき社会のリーダー」を育成します。

#### ▶ 協働する力 (Cooperation)

主体性をもちつつ、他者を思いやり、互いを尊重し、協働して対処していく力を育みます。

#### ▶ 生きる力

生きて働く「知識・技能」を確実に身に付け、変化する社会において未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成し、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養します。

#### ▶ 突き抜ける力 (Ambition)

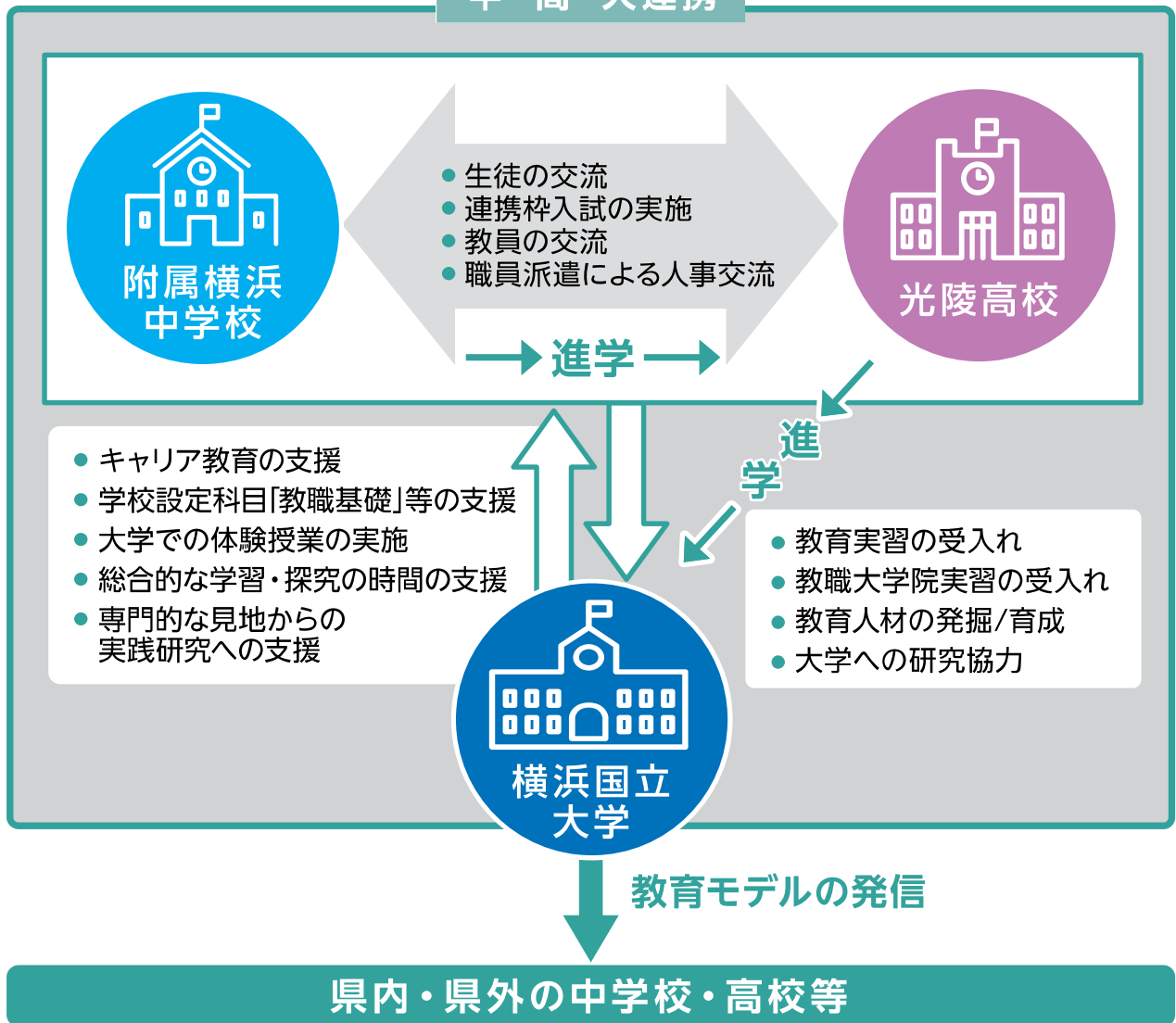
枠にとらわれない自由な発想で、時には野心的に失敗を恐れず、高い目標へと突き進む強い心を育みます。

#### カリキュラム・ポリシー 一部抜粋

▶ すべての教科・科目において、自ら課題を発見し解決していく思考力や判断力、多様性を尊重し他者と協働して対処していく力を育てます。

▶ KU(総合的な探究の時間)において、各教科等での学びを総合的・統合的に活かし、実社会の課題解決に向けて探究する力を育てます。

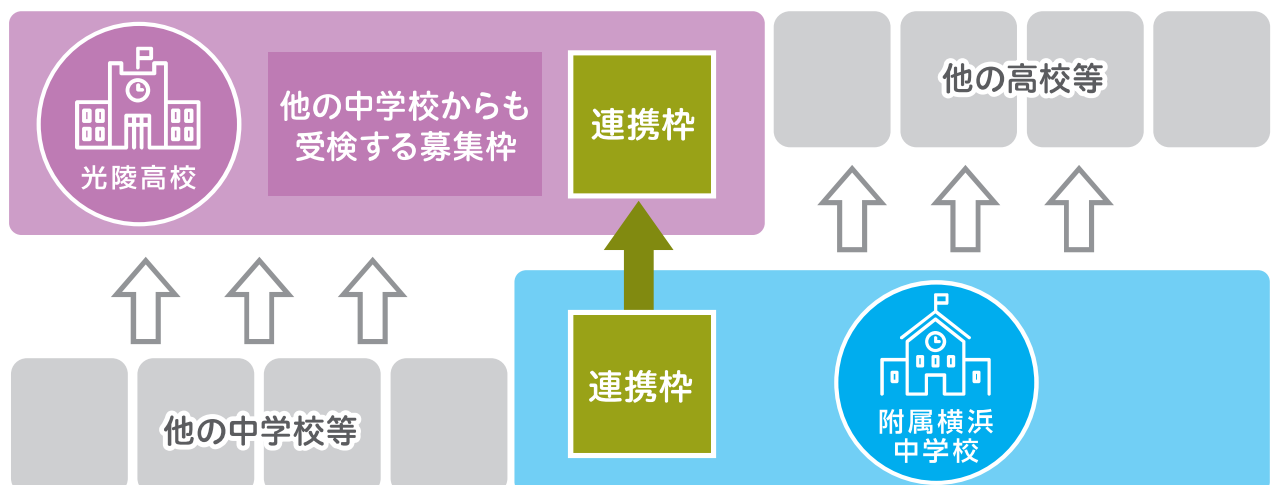
## 中・高・大連携



## 光陵高校の入学者選抜

## 附属横浜中学校からの受入れについて

- 連携型中高一貫教育校であることを踏まえ、調査書や学力検査によらない入学者選抜を行う。
- 募集人数：上限は1クラス相当とし、他の入学者選抜の募集人員の外枠『連携枠』とする。



## 具体的な取組

本事業では展開のねらいを踏まえて次のような取組を行っています。

- 1 「これからの社会をよりよく生きるための幅広い資質・能力」の育成へ向けた授業研究・授業改善
- 2 「問題発見・解決能力」の育成に向けた、探究的な学びの充実のための連携プログラムの展開
- 3 中・高・大連携の強みを生かしたキャリア教育の推進及び教員を志望する生徒・学生への支援

### 1 授業研究・授業改善の取組

#### 合同研修会



横浜国立大学教育学部附属横浜小学校を加え、小、中、高の教員による合同研修会を行っています。発達段階による教育課題の違いや各校における研究活動の取組について共有し、協議を行います。

#### 連携校相互視察



附属横浜小学校を加え、小、中、高の教員が連携校を相互に視察し、中高連携の在り方や校種間の円滑な接続に向けた方策等について検討し、それぞれの学校における教育活動の改善に生かしています。また、それぞれの学校が1年間の授業研究の成果を発表する公開研究授業(研究発表会)の際にも、互いの学校を訪問し、教員同士の学び合いを行います。

#### 教員の研修派遣



光陵高校の教員を附属横浜中学校に派遣しています。派遣された教員は、横浜国立大学教育学部の附属機関として中等教育に係る理論と実践を通じた研究活動を行っている附属横浜中学校に、教員として勤務することで、神奈川県における先導的役割を果たす上で必要な力量を身に付けるとともに、中・高・大連携の要としての役割を果たします。

#### 共同研究



大学の附属学校として、共同研究者である大学教員から年間を通して指導・助言を受け、教育の理論と実践に関する研究を行います。そのなかで、年度ごとに設定される研究テーマを基に教科の課題や方向性を明らかにしていきます。研究発表会では、基調提案に沿って教科ごとに授業を行い、研究の成果を全国の先生方・教育関係者に発信します。



## 2 探究的な学びの充実に向けた取組

### TOFY・KUにおける交流

中 高

総合的な学習・探究の時間の充実を図るために中学・高校それぞれが実施する発表会で交流を行っています。相互交流により研究が深まり、中学生は高校で研究を発展させるイメージをもつことができます。また、通常の授業内でも両校で探究活動の協力をしています。



#### 附属横浜中学校の「総合的な学習の時間」の取組

##### ▶TOFY (Time of Fuzoku Yokohama)

生徒が個々にテーマを設定し、調査・考察・実験・制作を通して、新たな提言を行う「受信→熟考→発信」の過程を意識した学習を行っています。



##### ▶CAN (Career Aim Navigation)

活動や体験を通して、様々な人間としての生き方を学び、自己への理解を深め、よりよく生きる実践的な態度を育てる学習を行っています。



#### 光陵高校の「総合的な探究の時間」の取組

##### ▶KU (Koryo Universe)

「自ら課題を発見し、その解決に向けた研究を行い、自分の考えをわかりやすく表現する」ことを主眼とした探究活動を行っています。各教科での学びの成果を総合的・統合的に活用し、実社会や実生活における課題解決に応用することを目指します。



### い-ハーベスト発表会

中 高 大

この発表会は、中・高・大連携による「総合的な学習・探究の時間」の成果発表の場です。年に1回、中・高の生徒が一堂に会して中・高・大の代表者が発表し合い、横浜国立大学の教員から講評を受けます。探究の価値や意義の理解、学びの系統性への気付きとその共有を目指しています。「い-ハーベスト」とは、英語の「I」(私)と「知の収穫」を意味するintellectual-harvestを重ねたもので、自らが主体的に関わり研究活動に取り組んだ研究成果や収穫・報酬等を表しています。



## KUの支援



KU（総合的な探究の時間）で行う探究活動に対して横浜国立大学からの支援を受けています。大学の教育資源を活用して、STEAM教育等の教科等横断的な学習を推進し、探究的な学習活動を充実させます。

### 3-1 キャリア教育の推進

## 光陵高校説明会



附属横浜中学校を対象とした独自の学校説明会を実施しています。中学生は授業参観、校内見学、部活動体験等を通して、光陵高校の取組について理解を深めることができます。附属横浜中学校の卒業生による相談会では、中学生は先輩から直接、高校生活に関することや体験談などを聞くことによって、より明確に高校のイメージをもつことができます。



## CAN体験授業



附属横浜中学校1年生が光陵高校、横浜国立大学を訪問します。交流活動や体験授業を通して、高校生活や大学生活を体験することで自己のキャリア形成を考える機会としています。

## 大学訪問・授業体験



光陵高校2年生全員が横浜国立大学を訪問し、自らが志望する学問分野と関連のある講義を受けることで、大学での学習・研究への理解を深めます。



### 3-2 教員を志望する生徒・学生への支援

#### 教員を志望する生徒への支援

高 大

光陵高校では将来教員を目指している生徒や、教育に興味がある生徒を対象とした選択科目「教職基礎」を開講しています。

この科目では、教職に関する様々な活動や講座への参加を通して、教育について幅広く学ぶことができます。

※令和4年4月から「教職基礎演習」を開講する予定です。



#### 「教職基礎」「教職基礎演習」における学習活動の例

高校生のための教職セミナー	神奈川県立総合教育センター主催の「高校生のための教職セミナー」に参加し、教育に関する様々なテーマについて学びます。
横浜国立大学教育学部との連携講座	横浜国立大学教育学部の教員による特別講義や、教育学部・教職大学院の学生とのワークショップなどを受講し、教育学部のカリキュラムや教職課程で学ぶ内容について理解を深めます。
近隣の小・中・特別支援学校における体験活動	小・中・特別支援学校の教育現場を見学することにより、各学校における教員の業務内容や校種ごとの教育課題などについて、理解を深めます。
学習成果発表会	教育に関してテーマを設定し、探究した内容を発表します。

#### 横浜国立大学教育学部特別ガイダンス

高 大

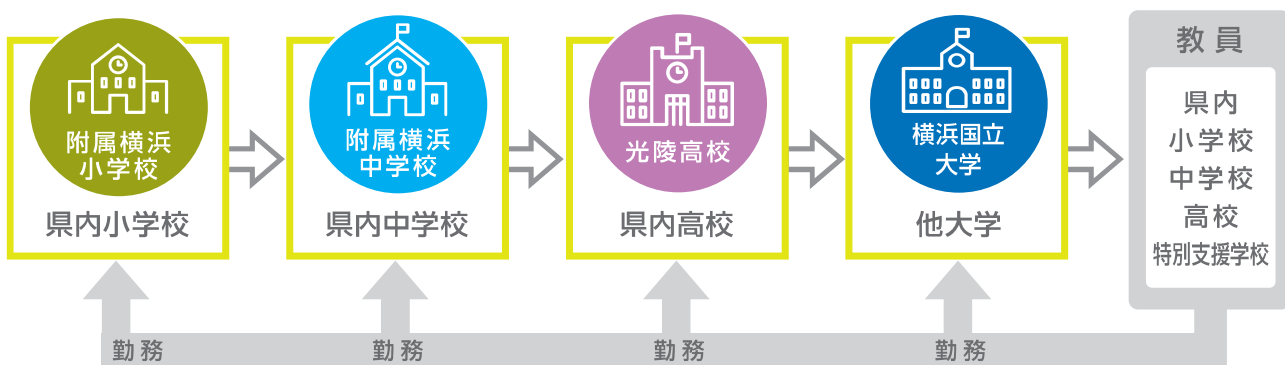
横浜国立大学教育学部の教員による、光陵高校生のための特別ガイダンスを実施しています。横浜国立大学教育学部の特色、入試の概要について、深く知ることができます。

#### 実習の受入れ

中 高 大

光陵高校と附属横浜中学校では、横浜国立大学及び同教職大学院の教育実習・教職大学院実習の受入れを、年間を通じて行っています。

#### かながわの教育人材の育成・還元のイメージ





特別  
ガイダンス

教育実習

School  
Day

教職専門  
実地研究

GIGA School

教職実践  
演習

知識 及び  
技能  
思考力  
判断力  
表現力  
学びに向かう力  
人間性

合同  
研修会

Curriculum  
Management

キャリア  
教育

研究発表

横浜国立大学教育学部  
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2

神奈川県立光陵高等学校  
〒240-0026 横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1

横浜国立大学教育学部附属横浜中学校  
〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-3

